

菊花展出品を目指したダルマ・福助作りの実践講座（第2回）

今年は6月の猛暑の後、7月には梅雨空が続き、例年より成長が遅めですが、皆様のお菊様はいかがお過ごしでしょうか。第2回目は、福助作りとスプレー菊ダルマ作りの管理方法です。

1 福助作り

7月上旬に挿し芽を行い5号鉢に定植して、花首までの高さが40cmまでになるように仕立てる作り方です。菊の高さを抑えるためには、ダルマ作りと同様に『ビーナイン』という成長を抑える薬品が必ず必要になります。

2 作り方

（1）菊苗の準備

7月10日前後（今年の提供苗は7月3日）に挿し芽をしますが、この時期の菊苗は通信販売でしか手に入らないので、自分で苗を用意することになります。

5月に挿し芽した苗をピンチで3本にして肥培したものを、挿し芽として使います。挿し芽の一週間前には、液肥を与えるのをやめます。（目先が枯れます。）

また、一週間前にビーナイン600倍を霧吹きで全体に掛けておきます。（濃すぎると鉢上げ後になかなか芽先が動きません。）

（2）挿し芽

挿し芽用土は、鹿沼土とクン炭の7：3が一般的です。この時期の用土にバーミキュライトを配合してはいけません。バーミキュライトは保温効果と保水性があるため、暑い時期に苗が腐る可能性があります。挿し穂の採取を夕方以降に行うと、芽先にデンプンの蓄積があるため、挿し穂には良いとされています。

水揚げは、活力剤（キング等）1000倍液で1時間程度浸せば十分です。

挿し穂の長さは5cm程度で、大きな葉4枚をつけて挿します。付いている葉が大きいほど葉からの蒸散が多く挿し芽の管理が難しくなりますが、挿し芽が成功すると以後の成長は早いです。

発根剤はルートン（ホームセンターに売っている）か、オキシベロン（園芸専門店で売っている）を使い、との粉（ホームセンターに売っている）を水で溶き、団子刺しにすると茎の切口に密着し水の吸い上げが良く、しおれにくくなります。

挿し芽後の管理は、10日間ほど日陰に置き、11日目から徐々に日に慣らしていきます。基本的には、なるべく明るい所で管理するのが発根を早めるコツですが、最初の数日間で日光に当てすぎてしおれさせてしまうと、その後の苗の復活は望めませんので、安全のため10日間は日陰で管理したほうが無難です。

8日目ごろから挿し芽用土の表面が乾いてきますが、しおれが夜間に回復したり極端に乾燥しない限りは水を与えなくても大丈夫です。挿し芽用土を掘ってみて水分がないと思ったら、挿し芽箱底から流れない程度の水をサッと表土を濡らしてあげます。

(3) 鉢上げ

14日位で発根して鉢上げできますので、5号鉢に直接鉢上げするか、3.5号鉢にポット上げします。

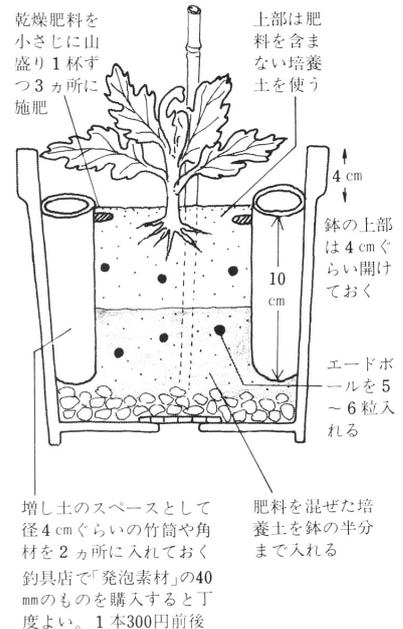
コツとしては、鉢上げ前の昼間に挿し芽箱にたっぷりと灌水して、挿し芽に水分を吸収させピンとさせてから夕方に鉢上げします。こうすることで鉢上げ直後のしおれと、芽先の変色を防ぐことができます。

培養土は菊専用の土であれば、配合は特にこだわらなくても良いと思います。鉢の上部は増し土用のため少なめに入れます。用土は親指で強めに締め固める程度で十分です。かたく締めすぎると排水が悪くなるばかりではなく、乾くと水も浸透しなくなり根が入っていきません。表面にミズゴケを薄く敷くと、用土の乾燥が均一となり管理が楽です。

駄温鉢の場合は必ず赤玉土で排水層を1cmほど作りましょう。排水層がないと、鉢底の水が排出されずに溜まってしまい根腐れを引き起こしてしまいます。プラスチック製の鉢は、底部の穴が全面にあるので排水層は必要ありません。

鉢上げ3日間はしおれやすいのでヨシズの下で管理し、4日目から直射日光に当てます。

苗の植え方



3 ダルマ仕立ての三枝誘引

7月上旬にダルマ苗を摘芯してから、まだ十分に3枝が伸びていませんが、8月第1週までには7号鉢に定植しておきます。

定植後、3枝が7号鉢の縁まで届きそうなことを確認してから誘引を行います。

誘引の方法については、動画でわかりやすく解説していますので、視聴してください。



3枝誘引前に定植しておく



3枝誘引の動画

4 日常管理

毎日鉢を持って中の水分量を確認し、軽くなり中身が乾いてから水やりをします。

水やりも液肥も、しばらくは中心部に鉢底から流れない程度の少量の水を与えます。鉢上げをして5日くらいで目先が動いて伸びたと感じたらビーナイン300倍を散布します。鉢上げ2週間後に乾燥肥料を追肥します。

お盆が過ぎて涼しくなったころから液肥で追い込みます。(第3回講習予定)

5 今後の管理スケジュール（案）

栽培場の条件によってまちまちですがおおよそのスケジュールです。

本日提供した苗は、7月3日挿し芽、7月16～18日にポット上げしております。

- 7月24日 【福助】5号鉢に鉢上げ（乾燥肥料を与える）
芽先が伸びたと感じたらビーナイン300倍を散布
ビーナインは以後14日毎に散布する
- ～8月7日 【ダルマ】7号鉢に定植（乾燥肥料を与える）
8月7日 【福助】 乾燥肥料を与える
- ～8月15日 【ダルマ】3枝の誘引、誘引後ビーナイン600倍
ビーナインは以後14日毎に散布する
- 8月21日 第3回講習会
スマホ写真を拝見して、アドバイスします

液体肥料は、1000倍に薄めたものを、週2回のペースで与える。
週1回は必ずスマホで写真を撮っておくこと。